和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第27号
2020年12月15日

SGH 企画 日高プレゼンコンペティション (4)

～ 発表概要紹介 ～

◆要約

私たちは障がい者差別に着目した。目標は障がい者の方たちが住みやすい街づくりを行うことによって、差別問題を少しでもなくすことだ。これはSDGs3・11の目標と関連する。

具体的な提案は「障がい者向けスーパーマーケットを設計しよう」というものだ。ポイントは次の8点、①出入り口を広げる ②通路を広げて半分に分け、通行方向を決める ③陳列棚を低くする ④陳列棚の配列を縦にする ⑤レジとレジの間の通路を広くする ⑥商品の値札に点字を付ける ⑦車いす専用のかごorカートを用意する、である。このように設計することで障がい者の方たちが利用しやすくなるのはもちろんだが、同時に、健常者の人たちにとっても利用しやすい空間が生まれる。

私たちの目的は、障がい者も健常者も一緒に利用する空間作りを提案することで、障がいを一つの個性として自然と受け入れる場面を創ることだ。そうすることで、自分とは違う外見や考え方に出会った時に、身構えたり何か特別扱いしたりしなくても受け入れる姿勢が少しずつ育まれ、結果、障がい者差別だけでなく、ほかの差別問題解消にもつながると考える。

(5) ぶち壊そう !!! 差別という名の高い壁 !!!

1 年 6 組　楠晴華　寒川優衣　山口采香

2 年 3 組　細田萌花

◆講評◆
校長先生より

限られた時間の中で、クラス・学年を超えて探究活動をすすめた様子がよく分かりました。

課題設定や解決案もそれぞれにしっかりと考えられており、探究の深さを感じました。

発表姿勢も、皆、堂々としていて、本当に素晴らしかったです。